

---

# 幼なじみは不死身ちゃん

HSS

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幼なじみは不死身ちゃん

### 【Nコード】

N5046BA

### 【作者名】

HSS

### 【あらすじ】

どんな学校生活が始まるのか不安と期待をもって迎えた蘭校の入学日

この日の一連の偶然のせいで剣士<sup>けんじ</sup>は幼馴染みである唯<sup>ゆい</sup>の事情に巻き込まれて死んでしまう

剣士を助けるため唯は契約を結ぶ

戸惑う剣士だが時は待ってくれない

魔法と剣が交差するファンタジー小説

## 始まりの鈴（前書き）

初めての作品なんで小説とは言えないような出来になっていると思います  
ますが読んでくれたら嬉しいです

きつい言葉でも大丈夫なんでアドバイスもらえたらなと思ってます

## 始まりの鈴

俺の胸の辺りにはもう俺の細胞はそこには存在してなかった

ぽっかりと空いた胸

意識がなくなりかけの虚ろな頭でもこれは死ぬとはつきりわかった

そして俺は地面に倒れる

そこに俺の名を大きな声で呼びながら近づいてくる幼馴染み

なにか彼女が叫んでいたが頭がその言葉を理解してくれない

そして俺が意識をうしなう瞬間唇に彼女の唇が重なる

これが俺の最初で最後のキスだった

・  
・  
・  
・  
・

蘭葉高等学校

俺 鈴城すずしろ 剣士けんじは今日からこの蘭高に通い始める

「はあ……………遂に来ちまったか」と俺は蘭高の正門前でため息混じりで呟いた

こんなことを呟いているがけしていきたくないわけではない

俺の出身はもうそれはそれはド田舎で周りは田んぼだらけでいいと

こと言えば空気がすんでいることと星がキレイに見えることぐらいだ  
そんなド田舎からきた俺が一番都会に近い蘭高に行けばすぐに田舎  
出がにじみでて目立つのではないかと不安でしかたがないのだ

そして剣士がまた何回目かの服装チェックをしようとしたとき隣か  
ら快活な中に苛立ちを混ぜた澄んだ声がある

「いつまでぐちぐちしてるのよ さっさといくわよ」  
隣から俺に声をかけた少女の名は間藤まどう唯ゆい

髪は黒髪で腰までいきそうぐらいのロングヘア 目もぱっちり  
二重でいい感じ 胸は標準的で大きいわけじゃないが小さいわけ  
もない 足も細くて好印象

外見で語るといいとこしかない まあ美少女だろう  
でも

「何回チェックしてもけんじはアホ顔なんだから服なんか関係ない  
じゃない」

とても口が悪い子だ

「お前は顔ばっか気にしすぎなんだよ 身だしなみを整えるのは当  
たり前だろ」

「それ何回目よ？ 私が数えただけで朝から八回はしてるわ」

.....

剣士と唯が校門前で見がみ言い合っていると校舎から朝のHR10  
分前を報せるチャイムがなる

そのチャイムでお互い言い合ってる時間がないことを感じ口喧嘩を  
やめる

「はあ……行くか」

剣士は覚悟を決め自分の田舎もんオーラが出てないことを祈り唯と  
一緒に玄關へと向かった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5046ba/>

---

幼なじみは不死身ちゃん

2012年1月15日03時49分発行